

F I N E S S E

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

・安全上のご注意	1～2
・各部の名称	3
・ワークトップ	4～6
・まな板	7
・排水口	8
・扉・ユニット・サイドパネル	9～10
・引出し	11～12
・耐荷重／ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて／ アフターサービスについて	13
・ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	14




安全上のご注意



必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

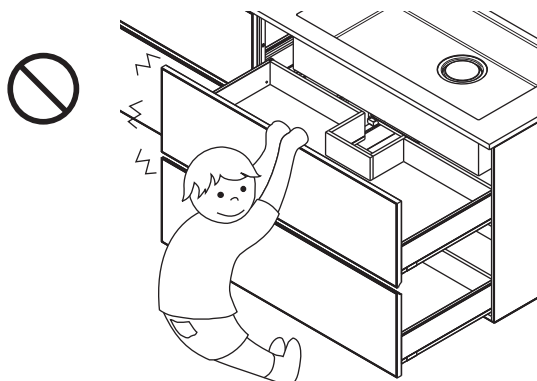
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
---	--

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 注意

引出しにぶら下がらないでください。



引出しが外れて、ケガをする恐れがあります。

製品に乗ったり、体重をかけたりしないでください。



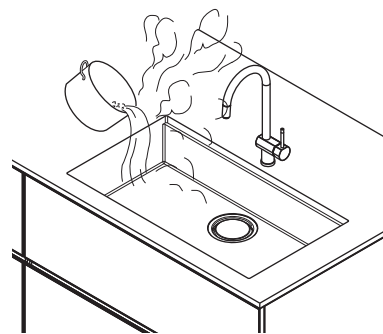
破損して、ケガをする恐れがあります。

引出しには、指定の荷重以上載せないでください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

天ぷら油や熱湯を、直接排水口に流さないでください。



排水器具等が変形し、水漏れの原因になることがあります。

組み込まれる機器・水栓金具等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。



使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。



水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は仕様上の注意をよく読んでお使いください。

調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺に手を触れないでください。



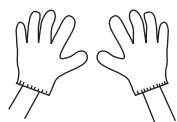
放射する熱等で熱くなり、やけどの恐れがあります。

扉やサイドパネルに強い衝撃を与えないでください。



ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

金属部のお手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



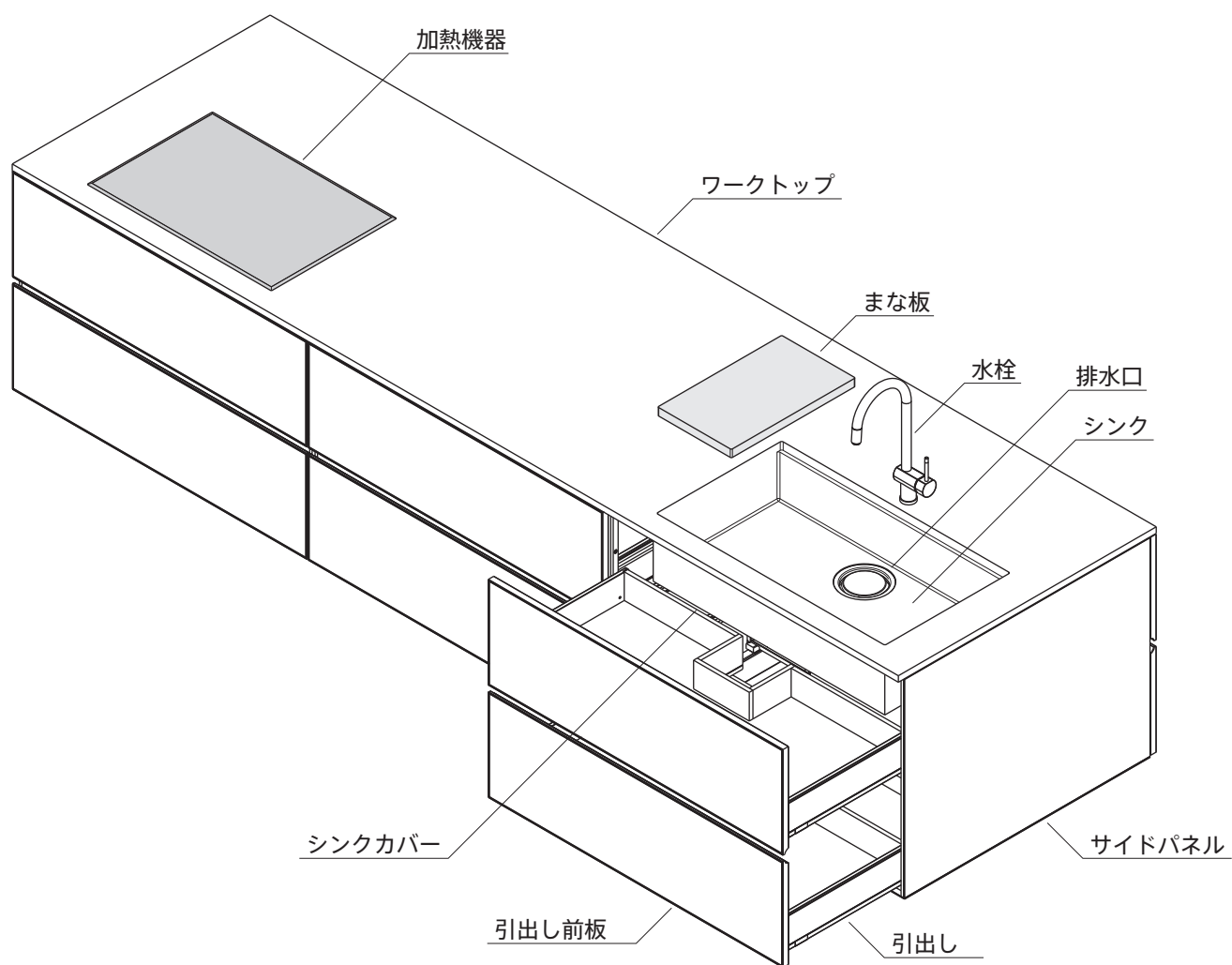
鋼板の切り口や角で、手を切る恐れがあります。

定期的に、配管周り（シンクカバー内）の水漏れや、ガタつきが無いか確認してください。



劣化・摩耗等で部品が破損し、やけど・ケガをしたり、漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

各部の名称

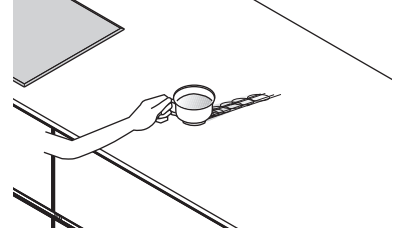


ワークトップ

■ご使用に際して

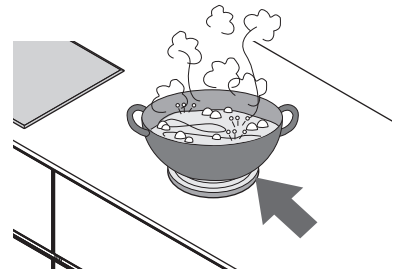
陶磁器等の摩擦にご注意ください。

陶磁器等の摩擦により、ステンレスに傷が付くことがあります。



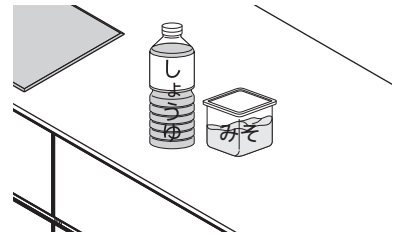
熱いやカンや鍋等を直接ワークトップの上に置かないでください。

沸騰したヤカン、熱い油の入った鍋を置く際は、ステンレス保護のため、鍋敷きを使用してください。



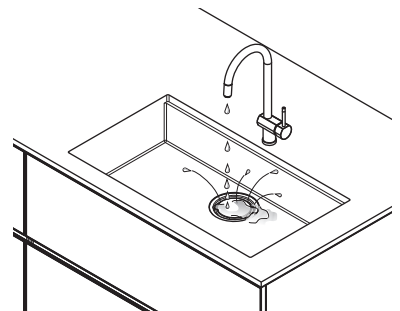
梅干し・漬け物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。

梅干し・漬け物等の塩分で、ステンレスの光沢が無くなる場合があります。



水道水は水漏れの無いようご注意ください。

水道水に含まれる塩素により、ステンレスの光沢が無くなる場合があります。



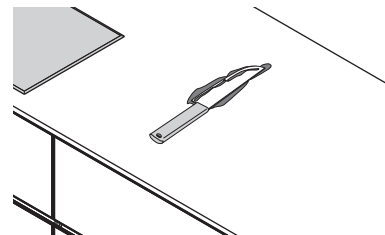
弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、シンナー・ベンジン等は使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。



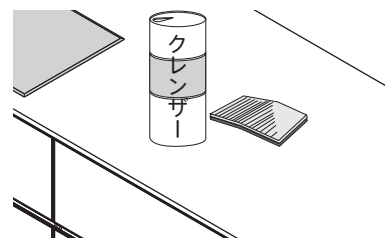
濡れた包丁、缶詰、ヘアピン等鉄製のものを長時間放置しないでください。

もらいサビの原因となることがあります。



粒子の粗いクレンザーやタワシ・金属タワシ・ナイロンタワシは、使用しないでください。

ステンレスに小さな傷が付くことがあります。



■お手入れ方法

汚れは放置すると落ちにくくなりますので、ご使用のたびにお手入れを行ってください。お手入れには、柔らかい布をご使用ください。

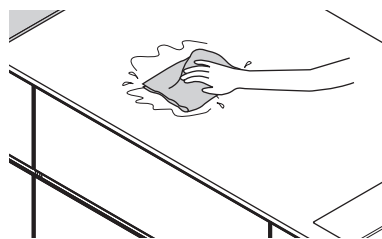
タワシやスポンジの裏についているスコッチブライト等は使用しないでください。

表面に傷が付きます。

※ご使用始めは、製品表面の黒ずみが付くことがありますが、お手入れを繰り返すとなくなります。

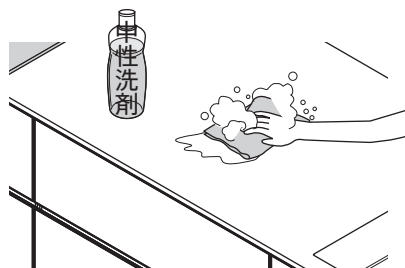
【日常のお手入れ】

1. 水を含ませた柔らかい布で汚れを落とします。
2. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



【汚れのお手入れ】

1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に中性洗剤をつけて汚れを落とします。
2. 水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



メンテナンス用品（オプション）

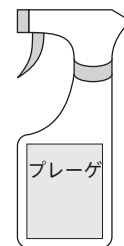
○シンプルグリーン（洗剤）

- ・ 通常のお手入れの場合は、30倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
 - ・ 油汚れがひどい場合は、水で5倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、2～3分待ちます。
スポンジ等で汚れをこすり落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ※希釈率が濃すぎると、表面に洗剤成分が残り、白っぽくなる場合があります。



○プレーグ（ステンレスチタン製品用コーティング剤）

1. プレーグを塗布する前に水や中性洗剤等を使用して、表面に付着している汚れを落とします。
 2. プレーグを塗布します。（スプレー1回（約1cc）につき1平方メートルを目安）
 3. 乾いた柔らかい布で車のワックスを塗り込むように円を描きながら、プレーグを十分に塗り込みます。
 4. 再度乾いた柔らかい布で、白いモヤモヤが無くなるまでから拭きします。
- ※ プレーグを塗布しすぎると、白いモヤモヤが取れにくくなります。
- ※ プレーグを使用する前に「シンプルグリーン」で油汚れを落とすとより一層効果が得られます。



まな板

■ご使用に際して

シンナー・ベンジン・ワックス・化学雑巾等は、使用しないでください。

表面の光沢がなくなったり、変色する場合があります。



直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用や放置は避けてください。

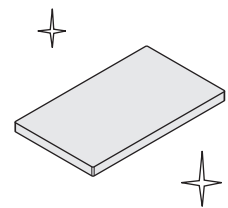
割れや反りが生じる恐れがあります。

■お手入れ方法

お手入れ後はすぐに拭き取り、自然乾燥でよく乾かしてください。

短時間の熱湯消毒は可能ですが、温風乾燥は避けてください。

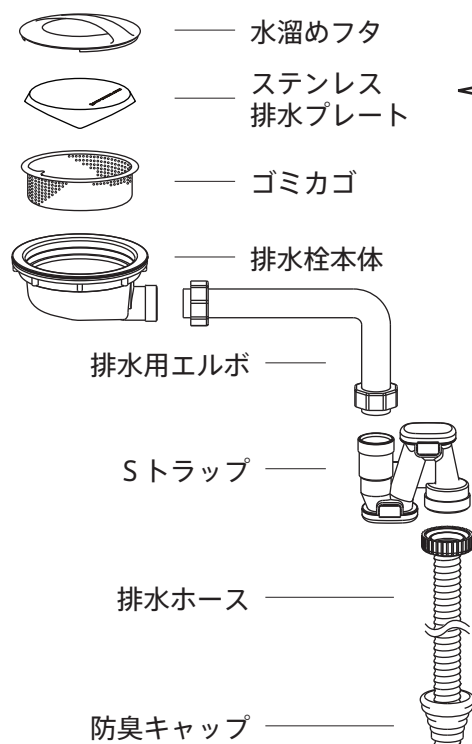
長時間、熱風を吹きつけると、割れや反りが生じます。



排水口

■ご使用に際して

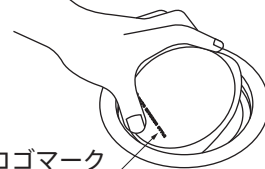
排水口付近の名称



ステンレス排水プレート

ロゴマーク付近を押して、反対側を浮かせて取り外します。

ロゴマーク



⚠ 注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。

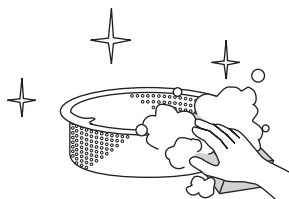


水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は仕様上の注意をよく読んでお使いください。

■お手入れ方法

ゴミカゴ

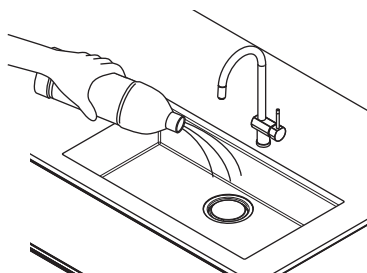
常に清潔を保ってください。



悪臭の原因になりますので、こまめにお湯または、洗剤できれいに洗ってください。
また、大きなゴミ等は流さないでください。

排水ホース

月に一度のお手入れをおすすめします。



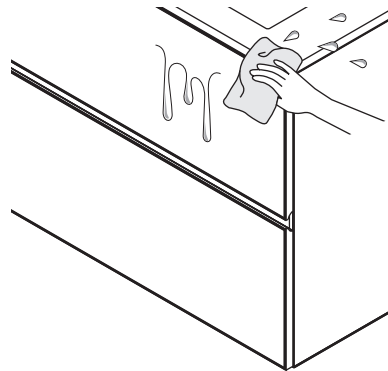
排水ホース内の水あかや油分は、1ヶ月に一度程度洗い流してください。

扉・ユニット・サイドパネル

■ご使用に際して

水が付いた場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

表面の塗装やメッキのふくれ、剥がれの原因になります。



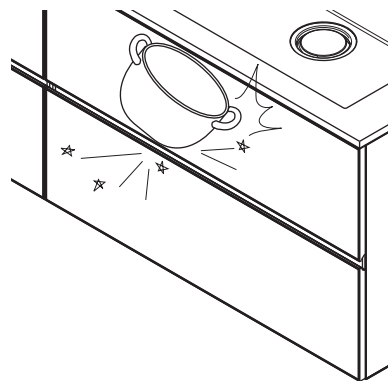
塩素系漂白剤・弱アルカリ性洗剤・ガソリン・シンナー・アルコール・ミガキ粉・研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。

表面塗装の剥がれ、破損、変質、変色の恐れがあります。



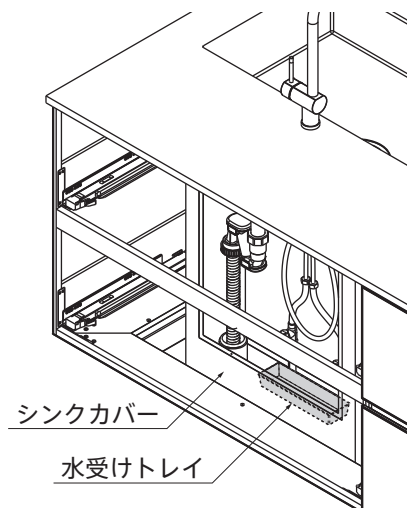
強い衝撃を与えないでください。

傷がついたり、ガラスが割れる恐れがあります。



水受けトレイを定期的を確認し、溜まった水は捨ててください。

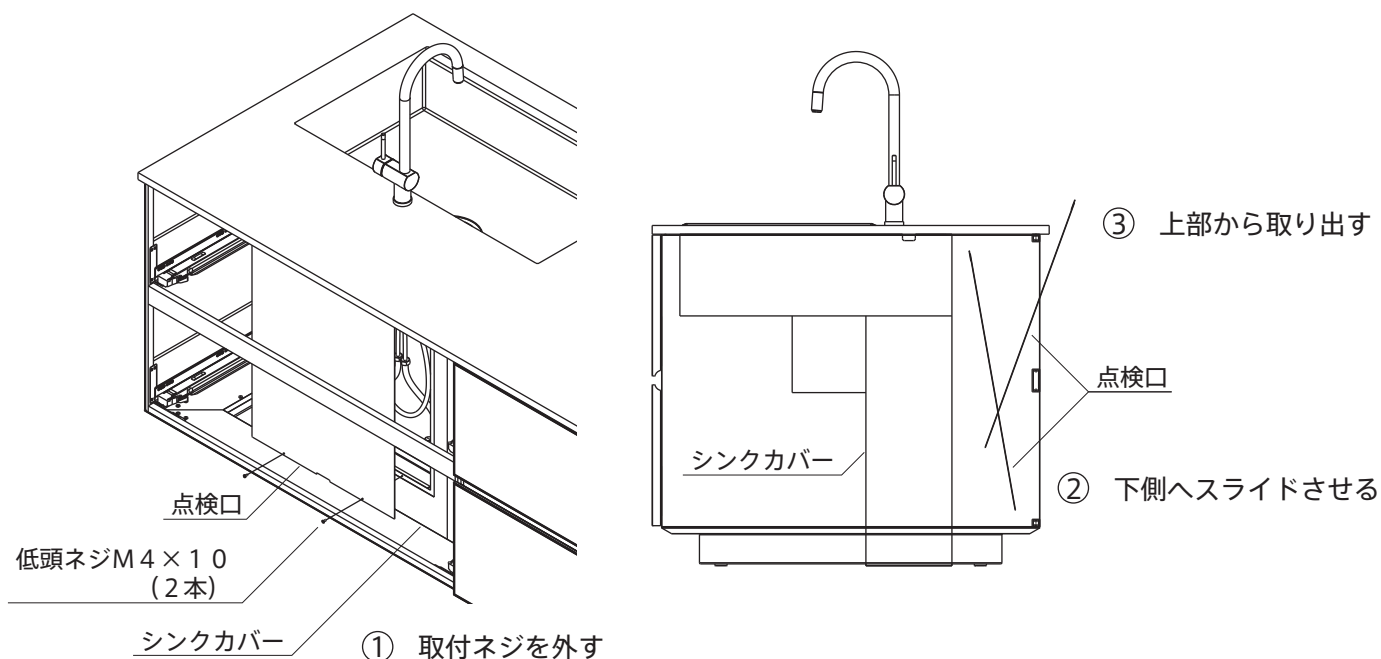
水が溢れることがあります。
シンクカバーの点検口を取り外し、シンクカバー内に設置してある水受けトレイを確認してください。
（「点検口の取り外し、取付け」参照。）



点検口の取り外し、取付け

- ・シンクユニットの対面側の引出しを取り外します。（「引出しの取り外し、取付け」参照）
- ・シンクカバー背面の点検口を外します。

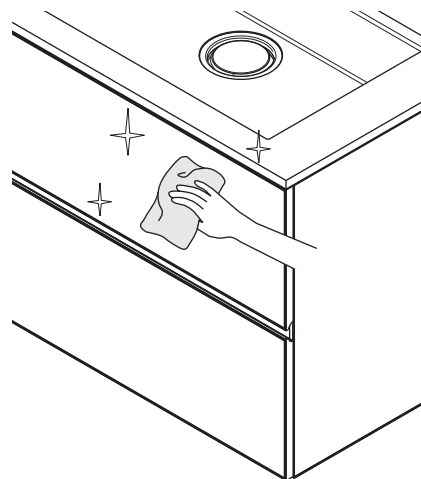
点検口を固定している低頭ネジM4×10（2本）を外して下側へスライドさせ、上部からユニットの外へ取り出します。



■お手入れ方法

通常のお手入れは、水またはぬるま湯に浸した柔らかい布を固く絞って水拭きし、から拭きしてください。

汚れは中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ柔らかい布で洗剤を拭き取った後、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。



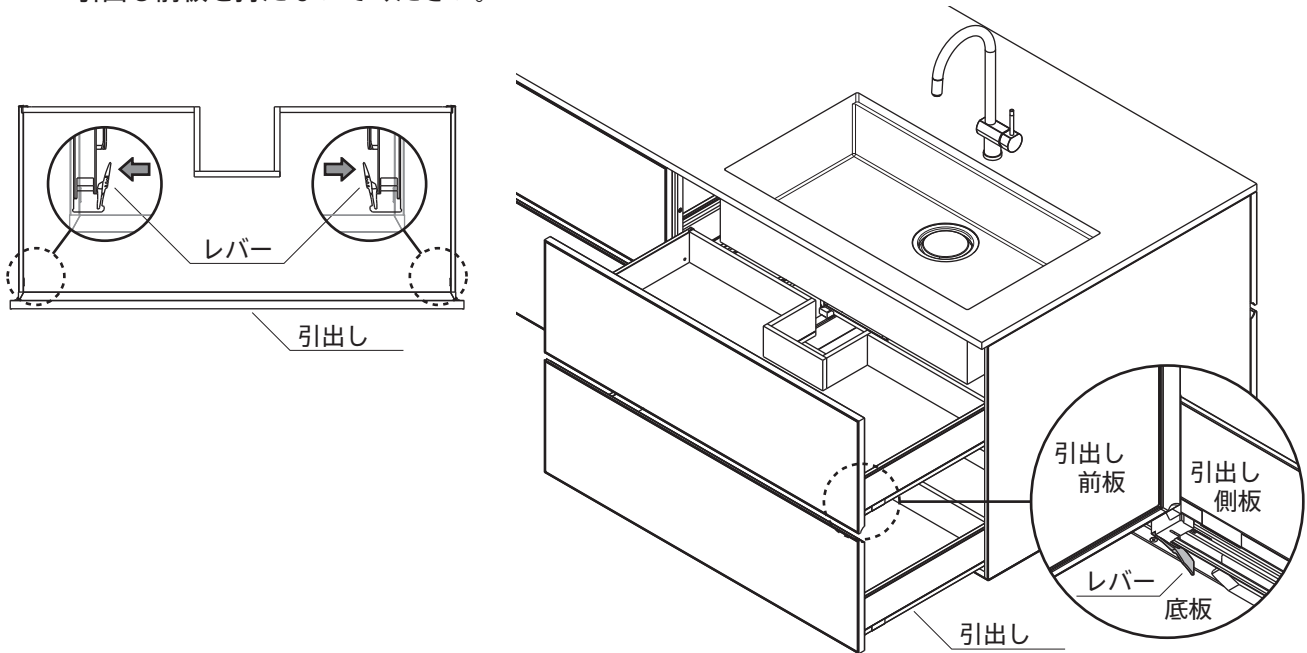
引出し

■取り外し、取付け

○取り外し

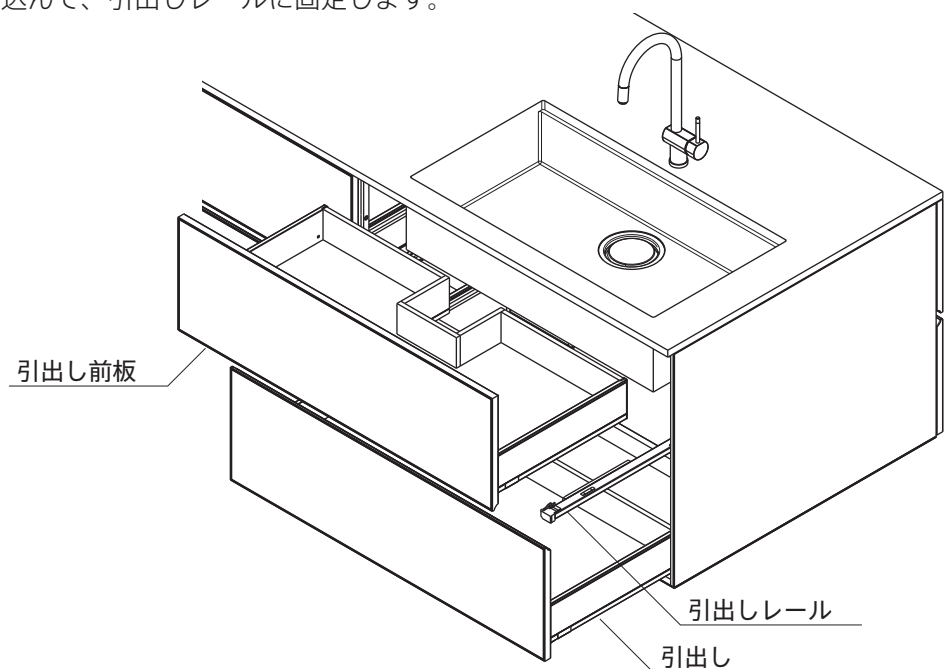
- ・引出しをいっぱいまで引出します。
- ・引出し側板左右下側についているレバーを握りながら、引出しを持ち上げて引出しレールから取り外します。

※引出し前板を持たないでください。



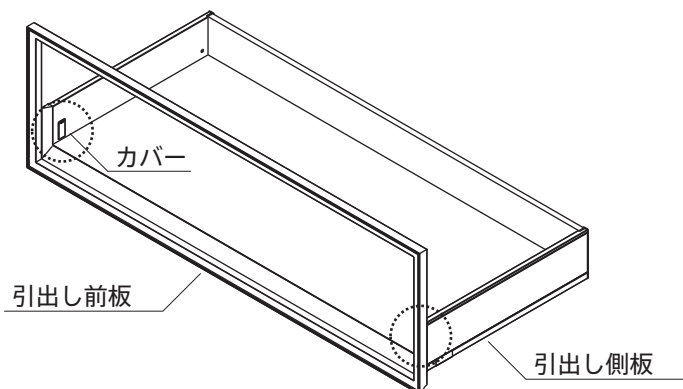
○取付け

- ・引出しレールをいっぱいまで引出します。
 - ・引出しレールの上に引出しをのせます。
- ※引出し前板を持たないでください。
- ・引出しを奥まで押し込んで、引出しレールに固定します。



■引出し前板の調整

- ・引出し前板の目地を確認し、調整を行います。
- ・引出し側板の左右内側についているカバーを外してください。



●上下方向の調整

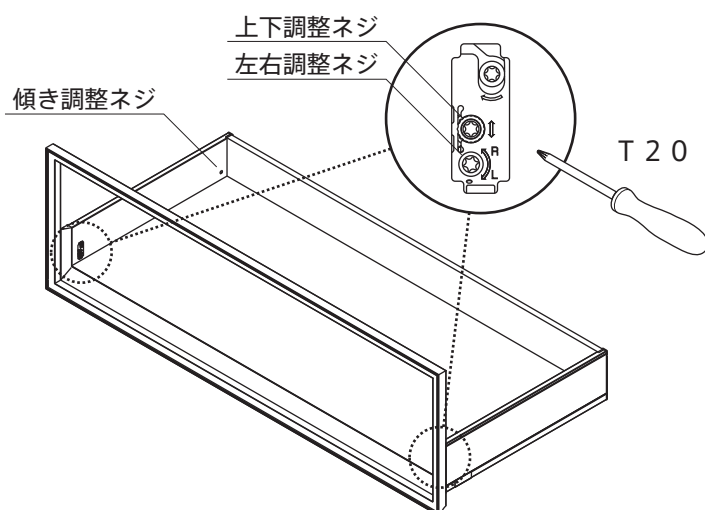
- ・上下調整ネジをトルクスドライバー（T20）で回して、引出し前板の上下方向を調整します。
±2mm調整できます。

●左右方向の調整

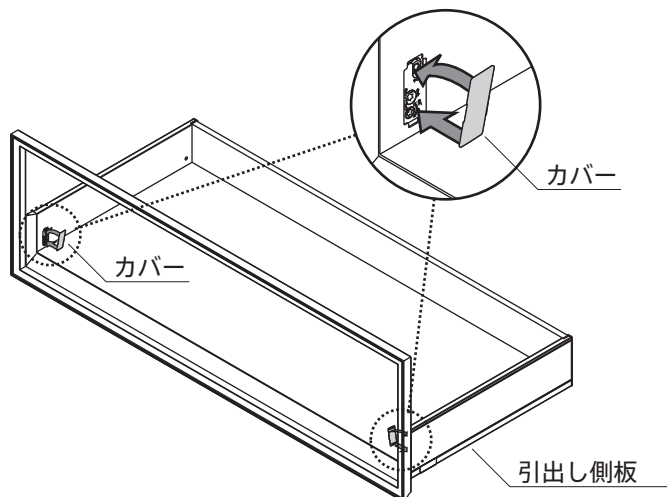
- ・左右調整ネジをトルクスドライバー（T20）で回して、引出し前板の左右方向を調整します。
±1.5mm調整できます。

●傾きの調整

- ・傾き調整ネジをトルクスドライバー（T20）で回して、引出し前板の傾きを調整します。



- ・調整が終わりましたら、引出し側板の左右内側にカバーを取付けてください。



耐荷重

引出し 30kg

※ 5kg・・・直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。
※均等に物をのせた場合の耐荷重です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取り扱いします。
1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
 2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
 3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

- この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトーヨーキッチンメンテナンスにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

・ ご氏名 ・ ご住所 ・ お電話番号 ・ お買い上げ日 ・ 異常の内容 ・ 品番

- 製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分 内装仕上部分および下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール 「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能

VOC放散性能 4VOC基準適合（木質建材）
表示ルール 「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~17:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

